

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	超高齢社会における紛争経験と司法政策
研究代表者	佐藤 岩夫（東京大学・社会科学研究所・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、日本社会が直面する超高齢社会と司法制度改革の影響という点だけでなく、法社会学会の大規模調査を約10年後に追跡するという点でも重要な研究企画調査である。</p> <p>応募者のこれまでの実績に照らし、十分な成果が見込まれ、政策提言への貢献も非常に期待できる。大規模面接調査の難しさとコストの大きさ、日本の高齢者を取り巻く環境の特徴への認識、国際的連携対象にアジアの研究者が見当たらないことなどもやや懸念されるが、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>